



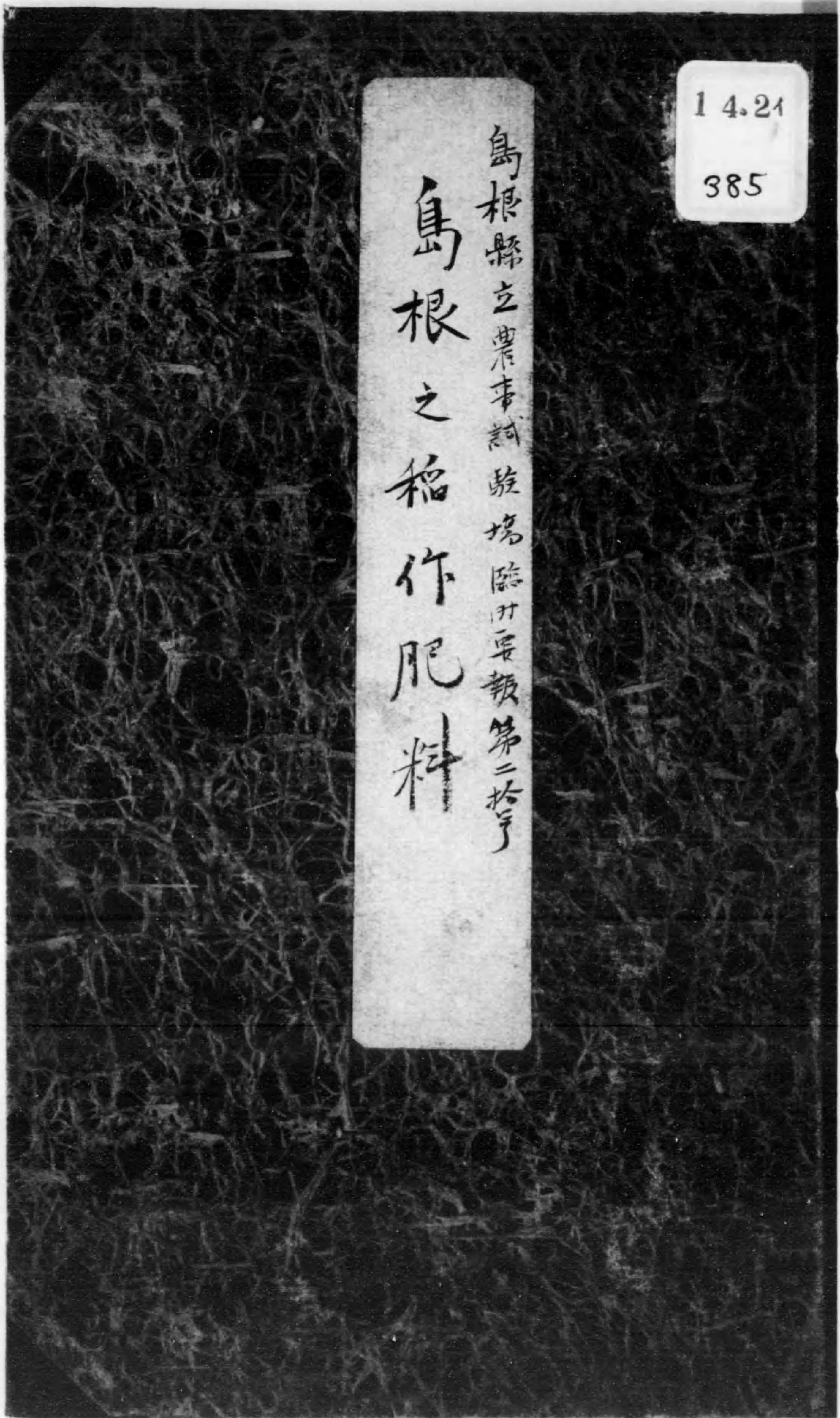
始



14.24

385

島根縣立農事試驗場臨時要報第三拾号
島根之稻作肥料



島根之稻作肥料



臨時
要報
第二拾號



島根縣立農事試驗場

1421-385

報要時臨刊既

第一號	踏斂の使用
第二號	農家中行事
第三號	所謂二倍增收稻作法
第四號	稻作と湧出アンモニア水
第五號	西田葛粉と出雲人參
第六號	八東美濃兩郡に於ける蘭草
第七號	蒟蒻栽培と其利用法
第八號	大麻と杞柳栽培及加工
第九號	島根縣の果樹園藝
第十號	島根縣下の百合と山葵
第十一號	稻とこやしと病ひ
第十二號	果樹と蔬菜と桑
第十三號	島根縣の楮と三極
第十四號	島根縣の蔬菜
第十五號	島根縣の栽桑
第十六號	米麥の純系淘汰
第十七號	米麥の雜種育成
第十八號	島根の日本梨
第十九號	島根の甘藷

緒言

本縣に於ける肥料消費の増率は其販賣肥料と自給肥料たるを問はず益々加はり最近實に二百八十餘万圓に達し既往八ヶ年間にありて能く五割八分強の膨張を示せり是れ蓋し肥培法の改良進歩に伴ふ結果に外ならずと雖未だ之に關する智識甚だ幼稚にして用量に用法に施期に種類に改善の餘地決して尠少にあらざるなり殊に肥料の配合作業の如きは其巧拙により肥効及收得に影響し之か單用により生ずる危害を解除し得へく極めて緊要の事項なりとす

夫れ然り肥料は農家の流通資本中主位を占め之か選擇施用の當否は農家經營なる關係を有すべく金肥節約の如きは蓋し自家勞力によりて生産すへき手間肥の増多を獎勵すると共に能く其成分不足を補充するの意なり宜しく肥料の配合と分量を決定すべく之か攻究は決して忽諾に附す可らざるなり

本報は本縣に於ける稻作肥料に就き農藝化學部主任桑原技師をして當場試験成績を経とし之に關する研究調査を緯とし概説せしめたるもの幸に當業者の實施的資料たるを得は欣幸となす所なり

正 14
大交

島根縣立農事試驗場長 草場榮喜

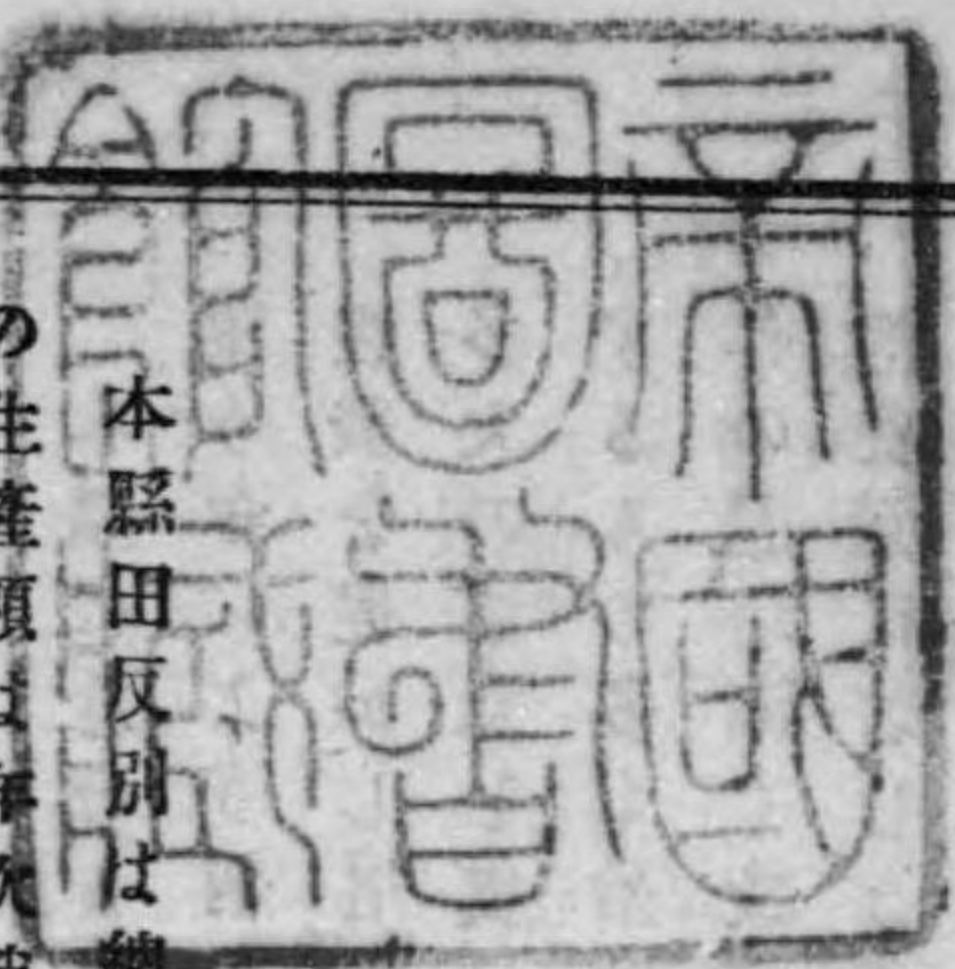
大正七年三月中旬



Faint vertical text columns on the right page, likely bleed-through from the reverse side.

島根の稲作肥料

技師 桑原省吾稿



緒論 肥料消費の趨勢 主要販賣肥料 自給肥料 稲作に對する肥料消費高 各種肥料の消費歩合 一反歩當消費高 稲作施肥量 苗代肥料 本田肥料 試驗成績概要 施用方法 苗代肥料 本田肥料 稲作石灰 稲作施肥上改善を要すべき事項 附録 反當肥料施用高 肥料共同購入 本縣に販賣せらるる輸入肥料保證成分量 本縣製造肥料保證成分量 各種肥料平均成分表

緒論

本縣田反別は總地積の一割一分強に當て耕地面積の約五割九分弱を占む而して米の生産額は年々消長ありと雖百万石を上下し反當收量を比するも漸進の趨勢にありと云ふべく明治三十五年以降五ヶ年平均收量一石五斗一升余なりしに明治四十年以降五ヶ年平均收量一石六斗九升余に進み大正元年以降五ヶ年平均收量一石七斗七升強に達せり之れ蓋農家の熱心と努力により或は苗の育成に或は插秧法に又は肥培保護管理に夫々改善せられたる結果にして斯業發展の順潮なるを示すものと云ふべし然れども其改良たるや遅々たるものにして聊か世の進運に伴はざる憾深きものあり

年次	販賣肥料	自給肥料	計	増減	比
明治卅五年	0.125				100
全 卅六年	0.103				100
全 卅七年	0.126				100
全 卅八年	0.126				100
全 卅九年	0.127				100
全 四十一年	0.127				100
全 四十二年	0.127				100
全 四十四年	0.127				100
大正元年	0.127				100
全 二年	0.127				100
全 三年	0.127				100
全 四年	0.127				100
全 五年	0.127				100

主要販賣肥料 本縣に於ける販賣肥料の主要なるものは過磷酸石灰、調合肥料硫酸「アムモニア」大豆粕魚肥等とす今左に之れに對する消費概況を窺はん

(1) 過磷酸石灰 本縣に於て過磷酸石灰の市場に現はれしは明治三十一年にして漸く明治卅五年に於て僅かに二十万貫に足らざりしが其後累進し綠草栽培の普及に促され今や百二十万貫を越せり

年次	量	價	格	増減	比
明治三五年	12.1	100			100
三六	12.1	100			100
三七	12.1	100			100
三八	12.1	100			100
三九	12.1	100			100
四〇	12.1	100			100
四一	12.1	100			100
四二	12.1	100			100
四三	12.1	100			100
四四	12.1	100			100
四五	12.1	100			100
大正元	12.1	100			100
二	12.1	100			100
三	12.1	100			100
四	12.1	100			100
五	12.1	100			100

(2) 調合肥料 其消費高は過磷酸石灰の二分の一乃至三分の一を彷彿しつゝある位に過ぎざれども本縣に入りて以來急足の消費増加を示し明治四十四年の消費量は明治卅五年に比し約五十三倍量に達せるは蓋し本縣肥料界に見ざる増加率を示せり然れども農家知識の向上は此種肥料の需要を減せしめざるもの如く明治四十四年以降亦著しく減量せるものゝ如し

年次	数量	価格	額増	率
明治三五	六五八四	一五三	一〇〇	100
明治三六	九七〇	二二	一三	一三
明治三七	六六六	八六	一三	一三
明治三八	五七三六	一七三	一〇	一〇
明治三九	八〇五	二二	一〇	一〇
(以上五ヶ年平均)	六六六	一〇	一〇	一〇
大正	一五八	一〇	一〇	一〇
大正元	一五八	一〇	一〇	一〇
大正二	一五八	一〇	一〇	一〇
大正三	一五八	一〇	一〇	一〇
大正四	一五八	一〇	一〇	一〇
大正五	一五八	一〇	一〇	一〇
(以上五ヶ年平均)	一五八	一〇	一〇	一〇

(3) 硫酸「アムモニア」 硫酸「アムモニア」の本縣肥料消費額統計に加へらるゝに至りしは漸く明治三十八年にして僅かに七千貫弱なりしが全四十年には一躍して其十一倍量に達し急劇なる増進を見たり然れども爾後斯の如き著しき増加を見ることなく肥料市價其他に依り常に消長し今や八万貫を下るの状況なり

年次	数量	価格	額増	減	率
明治三八	六八四	一〇	一〇	一〇	100
明治三九	三九	一〇	一〇	一〇	100
(以上二ヶ年平均)	三九	一〇	一〇	一〇	100
大正	四〇	一〇	一〇	一〇	100
大正元	四〇	一〇	一〇	一〇	100
大正二	四〇	一〇	一〇	一〇	100
大正三	四〇	一〇	一〇	一〇	100
大正四	四〇	一〇	一〇	一〇	100
大正五	四〇	一〇	一〇	一〇	100
(以上五ヶ年平均)	四〇	一〇	一〇	一〇	100

(4) 智利硝石 明治三十五年に漸く五貫の需要を見たるのみにて其後需要絶えし姿なりしが明治四十一年再び十貫の消費量ありし以來需要額劇増し盛に桑樹肥料として賞用せられたり然れども時局の影響を受け大正四年以降の遞減亦甚し

年次	数量	価格	額増	減	率
明治三五	一	一	一	一	100
明治三六	一	一	一	一	100
明治三七	一	一	一	一	100

年次	数量	価格	増減	率
明治三十八	10	101		100
明治三十九	10	101		100
明治四十	10	101		100
明治四十一	10	101		100
明治四十二	10	101		100
明治四十三	10	101		100
明治四十四	10	101		100
明治四十五	10	101		100
大正元	10	101		100
大正二	10	101		100
大正三	10	101		100
大正四	10	101		100
大正五	10	101		100
(以上四ヶ年平均)	10	101		100
大正	10	101		100
(以上五ヶ年平均)	10	101		100

(5)大豆粕 明治三十五年以前に於ては需要額常に鯨肥の下位に在りしも有機性窒素肥料中割安なりしたため三十七八年の戦役中を除くの外は常に過燐酸肥料と共に他種の肥料を凌ぎて需要せられ明治四十二年以降大正三年を除きては年々本縣最大の消費額を算しつゝあるものなり

年次	数量	価格	増減	率
明治三十五	2286	3650		100
明治三十六	2673	5464		136
明治三十七	2021	3650		100
(以上五ヶ年平均)	2327	4254		116

年次	数量	価格	増減	率
明治三十八	17511	10600		100
明治三十九	15800	12100		100
明治四十	12337	11800		100
明治四十一	11800	12100		100
明治四十二	11800	12100		100
明治四十三	11800	12100		100
明治四十四	11800	12100		100
明治四十五	11800	12100		100
大正元	11800	12100		100
大正二	11800	12100		100
大正三	11800	12100		100
大正四	11800	12100		100
大正五	11800	12100		100
(以上五ヶ年平均)	11800	12100		100

(6)鯨肥 鯨粕其他の鯨肥は一時大豆粕及人造肥料の爲に驅逐せらるゝが如き傾向を示せしと雖桑園肥培の聲漸く高く再轉して増進の趨勢を呈し來れり左に鯨粕の消費状況を窺はん

年次	数量	価格	増減	率
明治三五	8226	2521		100
明治三六	8636	2693		107
明治三七	6908	2757		109
明治三八	2524	2177		86
(以上五ヶ年平均)	6908	2693		107

年次	数量	価格	年次	数量	価格
明治三二	六,九四五	三,五七五	大正二	三,五九七	一〇,〇〇三
明治三三	六,〇五九	三,〇〇三	大正三	三,三七八	一三,一八七
明治三四	六,六八〇	三,一九三	大正四	三,〇一六	一四,五三二
明治三五	五,九八八	三,一五五	大正五	一,三三七	七,五六一
明治三六	五,九八八	三,一五五	大正平均	二,八〇九	一〇,三二九
明治三七年平均	六,一七〇	三,一五五			

(7) 鯷肥 鯷肥中本縣消費の比較的多きは乾鯷にして鯷粕の如きは漸く四五千貫を消長するもの、如し又乾鯷も年の漁獲の豊否により常に上下し消長の傾向定かならざる状態なり左に乾鯷の消費趨勢を窺はん

年次	数量	価格	年次	数量	価格
明治三五	一,二七二	三,三〇〇	明治四三	七,五二五	二六,九九九
明治三六	一,二二五	三,四六七	明治四四	一,七六〇	四,〇七六
明治三七	三,七五三	一,〇三三	明治平均	一,五五八	三,〇〇三
明治三八	九,七五九	二,一四〇	大正	一,五六〇	三,九七六
明治三九	八,二二三	二,一四〇	大正二	一,〇九六	三,〇三九
明治四〇	九,〇六六	二,七七一	大正三	一,〇九六	三,〇三九
明治四一	一,三三二	三,〇四四	大正四	一,〇九六	三,〇三九
明治四二	一,三三二	三,〇四四	大正五	一,〇九六	三,〇三九
明治平均	一,三三二	三,〇四四	大正平均	一,〇九六	三,〇三九

自給肥料 自給肥料は主要なるものは人糞尿厩肥堆肥綠肥柴草草木灰等にして綠肥は外は從來統計は據るべきもれなく又精確を期し難き事情多しと雖人尿尿の加は人口は増殖せるに伴ふて逐年増加せるは當然と認む得べく厩肥は如き亦牛馬頭數上

り打算して可なるべく其消長著しからず只山間部に於ける堆肥並に柴草は如きは種々事情に影響せられ勢漸次減少する傾向にあるもれ、如し左に綠草生産額を示し其消費趨勢并に普及状況を窺はん

(イ) 紫雲英

年次	数量	栽培反別	年次	数量	栽培反別
明治三五	八,八三三	二,〇六二	明治四三	一,三三三	三,〇〇三
明治三六	九,〇八三	二,一八三	明治四四	一,三三三	三,〇〇三
明治三七	九,〇八三	二,一八三	明治平均	一,三三三	三,〇〇三
明治三八	一〇,六三三	二,九七一	大正	一,三三三	三,〇〇三
明治三九	一〇,六三三	二,九七一	大正二	一,三三三	三,〇〇三
明治四〇	一〇,六三三	二,九七一	大正三	一,三三三	三,〇〇三
明治四一	一〇,六三三	二,九七一	大正四	一,三三三	三,〇〇三
明治四二	一〇,六三三	二,九七一	大正五	一,三三三	三,〇〇三
明治平均	一〇,六三三	二,九七一	大正平均	一,三三三	三,〇〇三

年次	数量	栽培反別	年次	数量	栽培反別
明治三五	一,一〇一	二,六七六	明治四三	一,一〇一	二,六七六
明治三六	一,一〇一	二,六七六	明治四四	一,一〇一	二,六七六
明治三七	一,一〇一	二,六七六	明治平均	一,一〇一	二,六七六
明治三八	一,一〇一	二,六七六	大正	一,一〇一	二,六七六
明治三九	一,一〇一	二,六七六	大正二	一,一〇一	二,六七六
明治四〇	一,一〇一	二,六七六	大正三	一,一〇一	二,六七六
明治四一	一,一〇一	二,六七六	大正四	一,一〇一	二,六七六
明治四二	一,一〇一	二,六七六	大正五	一,一〇一	二,六七六
明治平均	一,一〇一	二,六七六	大正平均	一,一〇一	二,六七六

明治四四 (以上五ヶ年平均) 大正 二元	1,124,200 1,011,700 1,124,200 1,124,200	7,300 5,800 7,300 7,300	大正 五 四 三	1,679,300 1,200,700 1,200,700 1,200,700	8,000 9,600 10,100 9,100
-------------------------------	--	----------------------------------	-------------------	--	-----------------------------------

(八) 諸草

年次	明治三九	四〇	四一	四二	四三	四四	大正	二元	五	四	三	年次	明治三九	四〇	四一	四二	四三	四四	大正	二元	五	四	三
数量	1,124,200	1,011,700	1,124,200	1,124,200	1,124,200	1,124,200	1,679,300	1,200,700	1,200,700	1,200,700	1,200,700	数量	1,679,300	1,200,700	1,200,700	1,200,700	1,200,700	1,200,700	1,679,300	1,200,700	1,200,700	1,200,700	
栽培反別							大正	五	四	三		栽培反別						大正	五	四	三		

(参考) 厩肥堆肥の消費量は就ては元より之が精確なるものを知る由なしと雖之等の改良に就ては漸く留意せらるゝ所となりしものゝ如く堆積舎の建設増加せらるゝは正に其一証と見て可なるべし

稲作に對する肥料の消費高

各種肥料の消費歩合 稻麥其他各種の作物に對する肥料消費高を各種肥料毎に求めんとするは極めて難事に屬し勿論其精確なるを期すべからずと雖各作物に對する肥料

種類撰擇傾向の如何を知るは指導上又農事改良上必要なりとす依つて曩に各郡農會に依頼し得たる回答を基とし各郡に於ける主要肥料の稲作に對する消費概況を窺はんに凡左の如し
過磷酸石灰の稲作に消費せらるゝ見込量は各郡とも二割内外とし残余大部分は綠草に用ひらるゝもの如し
智利硝石は稲作に用ふるなく殆ど桑樹専用なりとす
硫酸「アムモニア」は主として稻麥及桑樹に供用せらるるもの如くにして比較的稲作に消費する歩合の大きは八束仁多飯石邇摩美濃の五郡にして約五割を用ひ簸川最少にして五分内外とし其他の郡に在りては三割内外を稲に供するが如し而して尙其大部分苗代に施さるるが如き趨勢なり
調合肥料は稻麥桑樹及蘭草に用ふるもの如しと雖其稻に施す歩合の少きは美濃の一割五分八束の三割とし簸川安濃の五割之に次ぎ其他の郡に在りては七割以下に降らざるもの如し
大豆粕其他の油粕類は主として稻及桑樹に用ふるもの如く稲作に對し消費歩合の多きは飯石の九割邇摩の八割と云ふべく簸川の六割之に次ぎ其他の郡に在りては稻に五割桑樹に四割内外を用ふるもの如し
魚肥は仁多飯石の如く其八割を稲に消費する状態に在る所なきにあらざれども其他の郡に在りては四割内外を稲に残余は之を桑園に施すが如き概況なり而して厩肥は

大部分稻に鯀肥は桑樹に腐魚肥は之を麥及桑樹に施すが如き傾向を示す處多し
 人尿尿の稲作に供せらるゝは各郡とも其一割内外に過ぎずして其大部分は麥桑等に
 用ひらるゝが如し

厩肥及堆肥の稲作に消費する歩合の最も多きは八東仁多飯石とし約七割に及び簸川の
 五割邑智の四割之に次ぎ其他の郡に在りては其二割内外を稻に用ひ残余は之を麥
 作及桑樹に供するものゝ如し

綠草は各郡を通じ殆ど全部稲作に供せらるべしと雖漸く桑園に用ふる傾向あり
 草木灰は仁多飯石の如く稻に其四割を消費する概況のものあれど其他の各郡に在り
 ては二割以下なりとす而して残余は多く綠草に用ふべく石州地方に於ては麥に用ふ
 る歩合の比較的多き所あり

一反歩當消費高 稻田一反歩に施用消費する平均額を求むるは甚だ困難とする處に
 して到底其正鴻を期し得ざる種々の事情伏在す從つて今假りに各郡に於ける肥料消
 費高と各郡農會の回答せられたる稲作に對す各種肥料の消費見込歩合とより稲作消
 費肥料高を求め各郡の田反別により打算するとききは左表の如くにして實際より低き
 感あり是れ或は自給肥料單價の過低なるものある結果統計上止むを得ざる處ならんか

八	販賣肥料	料	自給肥料	料	計
能	東	0.85	1.65	2.50	3.35
義	東	0.85	1.65	2.50	3.35
能	東	0.85	1.65	2.50	3.35

稲作施肥量

植物の生長は最少量に存する無機營養分に依つて支配せらるべく(ローツヒ氏最
 少養分律)又一面に於て與へられたる無機營養分は植物生理的作用のみならず理學
 的作用にも必要とするが故に各營養分の最少量のみを以てするも植物は普通の發育
 を遂ぐるに能はず(ウォルフ氏法則)而して亦肥料の効能も肥料種類により優劣
 を生じ全一肥料も土性氣候施肥量用法其他により甲乙あるものなり故に稲作に施す
 べき施肥の適量を定むること實に困難なる所なり今左に苗代肥料及本田肥料とに就
 て縣下施肥實際量の一般を窺はんとす

仁	飯	簸	安	羅	邑	那	美	鹿	隱
多	原	石	州	濃	摩	智	賀	濃	足
0.10	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
1.10	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15

苗代肥料

從來農家の苗代に用ひし肥料は通して人尿尿とし之に青草乾草未熟堆積

母里村

明治四十一年頃

厩肥(未熟) 五〇〇

紫雲英 一貫

人糞尿 二升

草木灰 五合

現今

五十匁

三四升

二三十匁

(三) 大原郡

海潮村

明治四十年頃

厩肥 一貫三百匁

人糞尿 一升五合

木灰 二三升

油粕 三十匁

現今

同上

大東町

明治四十五年頃

厩肥 六百匁

生草 一貫

下肥 一貫

過磷酸石灰 一貫

木灰 一貫

現今

同上

一升

二三十匁

二三十匁

日登村

明治三十年頃

人尿 一貫

山草 一貫

過磷酸石灰 一貫

木灰 一貫

現今

四升

五貫

二十匁

二十匁

(四) 仁多郡

横田村及馬木村

明治三十五年頃

厩肥 一貫九百匁

人糞尿 一貫

木灰 一貫

大豆粕 一升

現今

二貫

一升

三合

二三十匁

三澤村

明治三十四年頃

厩肥 一貫九百匁

人糞尿 一貫

木灰 一貫

大豆粕 一貫

現今

一貫三百匁

八合

一二合

二三十匁

(五) 飯石郡

來島村

明治三十五年頃

厩肥 三貫

掛合村

明治三十五年頃

厩肥 三貫

(六) 簸川郡

高松村

明治三十五年頃

人糞尿 四五升

鯨ノ糞 一升

過磷酸石灰 一升

久木村

人糞尿 四升

大豆粕 百二十升

現 二貫五百匁

四升

現 二貫

二貫

現 四五升

六拾匁

三拾匁

二拾匁

現 四升

百二十升

過磷酸石灰

國富村

人糞尿 一升

大豆粕 三十匁

過磷酸石灰 二十匁

木灰 六十匁

窪田村及山口村

一貫三四百匁

厩肥 一二升

人糞尿 二三十匁

草木灰 二三十匁

遙堪村

七 七百匁

首蓄 三升

人糞尿 二三十匁

上津村

過磷酸石灰 一貫内外

大豆粕 三十匁

人糞尿 三升

(七) 安濃郡

佐比賣村

明治三十年頃

一貫五百匁

一貫

一升

(八) 邇摩郡

井田村

明治三十七年頃

一貫

七百匁

一升五合

(九) 邑智郡

中野村

明治四十年頃

一升

四百匁

三貫

(一〇) 那賀郡

草木

一貫

有福村

明治三十五年頃

六合

一升

一升

一升

波佐村

明治四十年頃

二貫

一升五合

周布村

明治四十年頃

五合

三百貫

一貫匁

(一一) 美濃郡

都茂村

明治三十五年頃

一貫三百匁

米 紫 雲 標 英	(三) 能義郡				大 草 過 燐 酸 石 灰	柴 燐 酸 石 灰	堆 肥	大 豆 糞 尿	人 糞 尿	硫 酸 ア モ ニ ア	過 燐 酸 石 灰	堆 肥 土	首 粕	大 豆 粕	過 燐 酸 石 灰	米 糠	鍊 粕
	(5) 宇賀莊村	(4) 熊野村	(3) 古江村	(2) 赤江村													
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

堆 紫 雲 肥 英	草 木 灰	過 燐 酸 石 灰	棉 實 粕	大 豆 粕	人 糞 尿	厩 肥	首 粕	山 豆 草	大 豆 草	堆 肥 土	燒 土 灰	過 燐 酸 石 灰	棉 實 粕	首 粕	草 木 灰	米 糠	過 燐 酸 石 灰	人 糞 尿
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

過大葉首 磷豆 酸石 灰 粕 苜	過大山首 磷豆 酸石 灰 粕 草 苜	過魚大豚紫首 磷豆雲 酸石肥粕肥英苜 灰	過柴堆 磷酸 石 灰 草 肥
(リ) 檜山村	(五) 高濱村	(ニ) 遙垣村	(ハ) 江南村
100 200 100 50	10 10 10 100 100 100 100	100 100 100 100 100 100 100	100 100 100 100 100 100 100

木過大人山首 磷酸豆 石 糞 灰 粕 尿 草 苜	過堆葉大首 磷酸豆 石 粕 苜 灰 肥	硫木過大首 酸アムモニア 磷酸石 豆 灰 灰 粕 苜	木過磷 灰 灰
(三) 山口村	(ハ) 佐香村	(ハ) 國富村	(ニ) 灘分村
100 100 100 100 100 100 100	100 100 100 100 100 100 100	100 100 100 100 100 100 100	100 100 100 100 100 100 100

大堆 豆 粕肥	厩人 糞 土尿肥	厩漿 雲 灰 過 磷 石 灰 木	(十一) 那賀郡 (イ) 雲城村		厩野 草 肥 大 豆 粕 過 磷 石 灰	山 紫 雲 英 灰 過 磷 石 灰
(ハ) 周布村	(ニ) 三隅村			(ホ) 市木村		
100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100

堆 肥	厩笹 柴 干 土 燒	堆 肥	厩人 糞 土 野 草 灰 木 土 燒	(十) 智郡 (イ) 粕淵村		厩人 糞 土 過 磷 石 灰
(ニ) 三原村	(ハ) 中野村	(ニ) 都賀村				
100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100
100	100	100	100	100	100	100

今前表により要素の施用を必要とする順位を示せば凡そ左の如し
 來待村土壤は窒素を要すること甚だしく稍加里の施用効あるも磷酸の効少きが如し
 出雲郷村土壤は窒素に欠乏し又磷酸加里を要するものの如し
 直江村土壤は窒素を除きては其要少きが如きも加里の補給効あるべし
 海潮村土壤は窒素に欠乏し加里之に次ぎ磷酸の要なきに近し
 大東町土壤は窒素及加里分施用の要あらん
 三成村土壤は窒素磷酸に乏しく加里の加用亦必要とす
 三澤村土壤は窒素加里磷酸の補給を必要とするものの如し
 掛合村土壤は窒素磷酸の加用効あるが如し
 東須佐村土壤は甚しく窒素に欠乏し加里磷酸の施用亦効あるが如し

施 用 法

施用法の功拙は肥料の効果に影響し直ちに肥料經濟と關聯するものなるが故に之が施用法に就ては充分の注意を拂はざるべからざる事項多し今改善の緒を求めんが爲從來行はれたる用法の概要を尋ねん

苗代肥料 苗代肥料として慣用せらるゝは前述せし處により畧推定し得たる如く人尿尿或は堆肥類とし大豆粕過磷酸石灰草木灰の如きは之を用ふるもの一地方に偏在

するが如し
 堆積肥を用ふるは主として山間部にして從來未熟なるものを用ひたる結果往々種
 収の動搖するを憂ひし時代ありしも漸く堆積肥の改善せられてより特に注意し腐熟
 せしむる傾向を生り又其用ふるにも荒代前に土と混し邑智郡の如き其用量の多き
 ものは苗代地に冬季に一半を豫め施し他の一半を腐熟せしめて整地前に施すが如く
 爲すものあり
 人尿尿は之を稀釋して用ひ其幾部を荒起したる後細耕するまでに澆け土壤に浸潤せ
 しむるものあるも其大部分量は之を地均し前に撒布し或は苗の生育状況に徴して追
 肥となすもの尙少しと云ふべからず
 大豆粕其他の油粕類は細粉にし地均し十五日前後に施し或は稀れに苗の一寸位伸ひ
 しとき追肥となすあり
 草木灰を用ふるには地均し前に撒布するものと播種後床面を覆はしむるとあれど大
 凡そ苗床の構造別により相違せる傾向あり
 過磷酸石灰は整地前に施すものと苗の少しく伸びたるときに用ふるとありて各自異
 なるものの如し
 之を要するに從來の施用法中特に改良を要するは堆積肥及綠草施用者にあり即將來
 之等を用ふるものは十二分に腐熟せしめて供すべく綠草の如き寸斷して糲き込み豫め
 腐熟せしむるを要すべし而して又苗代には徒らに追肥を避くる様留意すること肝要

なり尤も苗採取十日前後に於て極めて稀薄なる人糞尿を施すは播種後の活着をして可良ならしむる場合多しとす

本田肥料

本田肥料として用ひらるゝ緑肥堆積肥人糞尿は之を基肥となし大豆粕過磷酸石灰草木灰其他は之を元追いつれにも供用せらるゝ概況なるが追肥は稻の生育状態に徴して之を行ふが如き傾向なるが如く考へらるゝ處にして稍もすれば時期を失すとももの多き憾ありよろしく追肥の機を失せざる様一層の注意を促して止まざる所なり常に追肥は遅くも土用彼岸までに用ふべし
厩肥堆肥を用ふるに當り施さんとする田區に運搬し之を數ヶ所に堆みかく習慣は未だに改まらざるもの如く常に之が實況を目撃する所なり之れ施用に改善を要すること最も急なる一にして田圃に運搬せしものは直ちに撒布し稍淺く鋤き込むを要すべく其暇なかりしならんには必ず一ヶ所に堆積し風雨に曝らざるを良策とす又往々にして改良堆肥は從來の堆肥よりも容積少く爲めに耕地堅密となり地力衰退すべしと叫ぶものあるも蓋し之れ肉眼的に感得たる想像にして之を實地調査せるに如斯憂更になし

緑肥作物殊に紫雲英を施すに際し今尙刈取ることなしに鋤き込むものあり之れ奏効稍遅れ肥効自ら小なるを常とするが故に農家は徒に刈取りの勞を惜まらず更は寸断し莖葉の稍萎凋するを待つて鋤き込むべし但乾燥するを忌む
山笹は之を堆肥となしとき基肥に用ふるは可とす往々山間部に至れば晩秋より早春

にかけ田圃に只擴げかく習慣あるも斯くては肥効十分ならずよろしく改良すべし
胴躑は用ふるもの少くなりしと雖往々之を株間に差し込みたるまゝに放置し追肥の目的を達したりと思へるものを今尙目撃す凡る肥料は粗粒よりも細末なるを貴び肥効に相違あるものなれば斯る駄農的施用法は肥料經濟上又肥培上絶対に避くべきなり

附 稻作と石灰

石灰の植産上重要な位置を占むることは各方面の研究調査により漸く明かとなり或は土壤微生物の爲或は土性改良の爲又は所謂酸性土壤改良の爲之が施用を必要とする場合多きを加ふるに至れり古來農家の智識低く肥培法の何たるを辨せず石灰單用連用の弊に陥る憂ありしかば各府縣とも之が亂用を戒めし處なりしも今や肥培に關する智識は啓發せられ肥料配合の必要を唱ふる農家多し世運となりし爲各府縣中石灰禁止令を發布して警戒しつゝありし地方も漸く之を廢し石灰の善用を説くの状況となれるは斯界の爲慶すべし蓋し石灰の亂用は元より之を避けざるべからざるも各種肥料の施用と共に石灰を施用するは害なくして効多しと云ふ意にして誤解なきを要する所たり

本縣に於ても從來邑智郡の中野矢上兩村附近鹿足郡の朝倉木部兩村及其附近に限り石灰を用ふること多く縣下の石灰施用地として名ありし所なるも漸く善用化しつゝ

肥料名	窒素	磷酸	加里	里	輸入者	住	所	氏	名	輸入肥料保證分量											
										計	其他	米糠	乾鹽	鍊肥	其他油粕類	大豆粕	硫酸加里	石灰窒素	智利硝石		
魚類米糠混合糞干	35.0	20.0	1.20	1	那賀郡濱田町	松岡	熊太	耶	11.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
全	35.0	20.0	1.20	1	全江津町	平岡	久四	耶	11.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
全	35.0	20.0	1.20	1	八東郡惠曇村	青田	善太	耶	11.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
全	35.0	20.0	1.20	1	松江市西茶	井上	只太	助	11.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
全	35.0	20.0	1.20	1	滿摩郡福浦村	山田	渡	三	11.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
全	35.0	20.0	1.20	1	安濃郡刺鹿村	生越	龜	三	11.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5

五五

肥料名	大正五年	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	輸入肥料保證分量															
						計	其他	米糠	乾鹽	鍊肥	其他油粕類	大豆粕	硫酸加里	石灰窒素	智利硝石						
糖安	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
調合肥料	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
過磷酸石灰	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
智利硝石	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
石灰窒素	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
硫酸加里	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
鍊肥	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
乾鹽	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
大豆粕	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
其他油粕類	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
米糠	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
其他	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

五四

肥料名	全				高				低				平			
	最	高	最	低	最	高	最	低	最	高	最	低	最	高	最	低
木實油	二、五九				一、九六				〇、七五				〇、七五			
桐實油	二、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
茶實油	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
檳實油	二、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
煙草	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
艾粉	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
棉粉	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
醫油	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
燒耐油	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
酒粕(全)	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
餉粕(乾燥)	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
酢粕(乾燥)	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
味附粕(新鮮)	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
豆腐粕(新鮮)	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
馬鈴薯	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
甘薯	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
脫脂米	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
小麥	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
小麥	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
大麥	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
粟	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			
蠶豆	一、三三				〇、四〇				〇、二五				〇、二五			

肥料名	全				高				低				平			
	最	高	最	低	最	高	最	低	最	高	最	低	最	高	最	低
大豆粕	七、四三				一、八九				一、三六				一、三六			
全(牛莊產)	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
全(信州產)	六、三三				〇、八二				一、二六				一、二六			
黑大豆	六、三三				〇、八二				一、二六				一、二六			
全(內地產)	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
全(支那產)	六、三三				〇、八二				一、二六				一、二六			
全(印度產)	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
棉實油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
麻實油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
荏實油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
胡麻油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
落花生油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
亞麻仁油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
印度雜植物油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
棉實油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
桐實油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
茶實油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
檳實油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
煙草	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
艾粉	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
棉粉	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
醫油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
燒耐油	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
酒粕(全)	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
餉粕(乾燥)	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
酢粕(乾燥)	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
味附粕(新鮮)	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
豆腐粕(新鮮)	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
馬鈴薯	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
甘薯	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
脫脂米	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
小麥	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
小麥	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
大麥	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
粟	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
蠶豆	六、三三				一、八〇				一、二六				一、二六			
海島糞(南島島)	三、四三				一、八〇				一、二六				一、二六			
兔糞(乾燥)	三、四三				〇、八二				一、二六				一、二六			
蠶渣(乾燥)	三、四三				一、三六				一、二六				一、二六			
全(風乾態)	三、四三				一、三六				一、二六				一、二六			

玉蜀黍皮	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130
蕎麥皮	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120
★粉汁沈澱物	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110
野草(新鮮)	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100
紫雲英(全)	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090
葛ノ葉(全)	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080
白詰草(新鮮花中)	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
全 (風乾態)	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060
赤詰草(新鮮花中)	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050
全 (風乾態)	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040
首 (風乾態)	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
全 (風乾態)	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020
青刈蠶豆(莢付)	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010
花後大豆(新鮮)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
青刈豌豆(全)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全 (風乾態)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
花中蕎麥(新鮮)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全 (風乾態)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
甘藷葉(風乾態)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全 (新鮮)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全 (風乾態)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
小 (風乾態)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全 (風乾態)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
槲栗(九月採取)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
栗(全)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

標(全)	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130	0.130
笹(全)	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120	0.120
薄(全)	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110	0.110
落葉堆肥	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100
稻葉肥	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090
小麥	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080
大麥	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
粟	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060	0.060
豌豆	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050
大豆	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040
蕎麥	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
煙草	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020
茄子	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010
甘藷	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
葡萄	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
松葉	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
樺葉	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
海草(風乾態)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
海草(全)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
煨炭肥料	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

大正七年三月二十五日印刷
大正七年三月二十七日發行

(非賣品)

島根縣立農事試驗場

印刷者 蒲生善之助
松江市殿町廿九番地

印刷所 蒲生活版所
松江市殿町廿九番地

(電話二百四番)

第二十二報
第二十三報
第二十四報
第二十五報
第二十六報
第二十七報
第二十八報
第二十九報
第三十報
第三十一報
第三十二報
第三十三報
第三十四報

島根農事試驗場成績

既往川郡に於ける試験の成績の要領
能義郡に於ける試験の成績
病害虫に關する試験の成績
美濃郡に關する試験の成績
病害虫に關する試験の成績
安濃郡に關する試験の成績
隱岐國海士に於ける模範農家
隱岐國五箇に於ける模範農家
那賀郡酸性土に於ける調査
八東郡酸性土に於ける調査
來原郡酸性土に於ける調査
桑樹試驗成績に於ける果樹園

農事試驗場彙報 月刊 一々年分金二十四錢 (送料不要)
臨時刊行 代金不定
農事試驗場成績 全
右希望者ニハ實費ヲ以テ配付ス。御望ミノ方ハ當場内研習會
へ御申込相成度

番四四五九二 阪大産口金貯替振
二四園 市今話電

1421
385

終

